

サステナビリティ取り組み事例

カーボンオフセット付ごみ収集車サブスクリプションサービスの提供を開始
～自治体・企業における脱炭素の取り組みを支援～

関連するマテリアリティ



地球環境に対する
真摯な取り組み



パートナーシップによる
価値共創

三菱ＨＣキャピタル株式会社、そのグループ会社の三菱オートリース株式会社および新明和オートセールス株式会社の３社は、カーボンオフセット付ごみ収集車のサブスクリプションサービスの提供を開始しました。
３社は本サービスの提供を通じて、ごみ収集にともなう CO2 排出量、環境負荷の削減に貢献します。



近年、政府が掲げる 2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、CO2 実質排出量ゼロに取り組む「カーボンゼロシティ」を表明する自治体が増加しています。2020 年 10 月時点では、表明数は 166 自治体 *1 ですが、2024 年 12 月時点で 1,127 自治体に増加しており、自治体においても、カーボンニュートラルに関するさまざまな取り組みが進められています。

本サービスは、新明和オートセールスが提供している特装車 *2 のサブスクリプションサービス「G-SUB」*3 に、カーボンオフセットの枠組みを追加し、機能を拡充したものです。新明和オートセールスは、親会社である新明和工業株式会社からのごみ収集車の調達、メンテナンス先の選定などを担います。三菱ＨＣキャピタルはごみ収集車が稼働中に排出する CO2 を J- クレジット制度 *4 の活用によりオフセットし、三菱オートリースがメンテナンスおよびカーボンオフセット付のごみ収集車を自治体および業務委託先の企業にリースします。
自治体は本サービスの活用により、ごみ収集車導入の初期コスト抑制とランニングコストの予算化が可能となり、同時に CO2 排出量の削減に繋がります。

今後、３社は、本サービスの提案対象を全国の自治体や業務委託先の企業に拡大し、カーボンニュートラルの実現に貢献します。

*1 環境省「ゼロカーボンシティ一覧図 (表明都道府県地図、表明自治体数他)(2024.12.27)」

<https://www.env.go.jp/content/000277212.pdf>

*2 特定の用途や目的のために特殊部品や装置を取り付けた車両。

*3 「G-SUB」の詳細は、下記のウェブサイトをご覧ください。

<http://auto-chukosya.shinmaywa.co.jp/AutoUsedHP/src/autousedhp/zanka/index.html>

*4 J- クレジット制度の詳細は、下記のウェブサイトをご覧ください。

<https://japancredit.go.jp/about/outline/>